



現在彼女は
山中の集落で
ひっそりと暮らしていた

みんな
ご飯が出来たよ!



いつもすまない
ありがとう



うまそー
さすが牡丹姉ちゃん

いっぱい食べてね

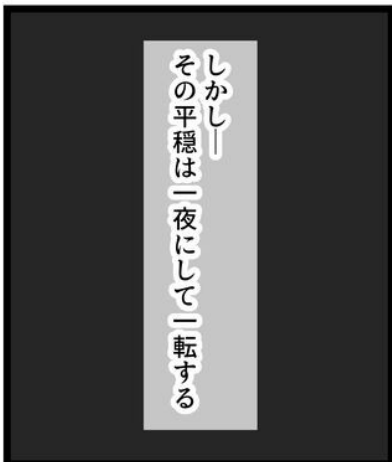
集落にいる人間は
戦から命からがら
生き延びた武士や
戦災孤児等が
そのほとんどであった



どういたしまして

一度は京で退魔師として
活動していた時期もあったが
自分にはむいてないと
都を後にした

牡丹は結界術や癒しの霊術を
得意としており
妖を祓う事は苦手であったが
補助に回った時その力を
十分に発揮した

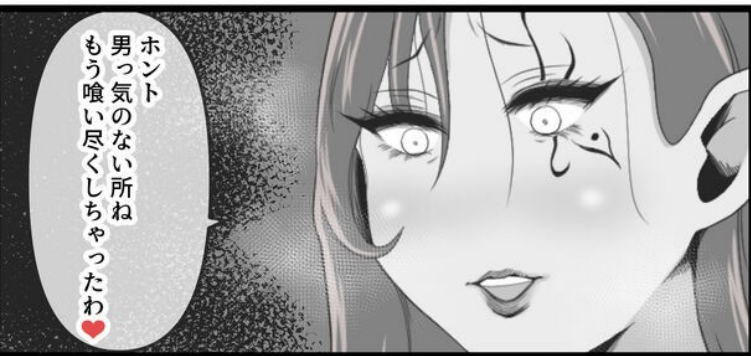
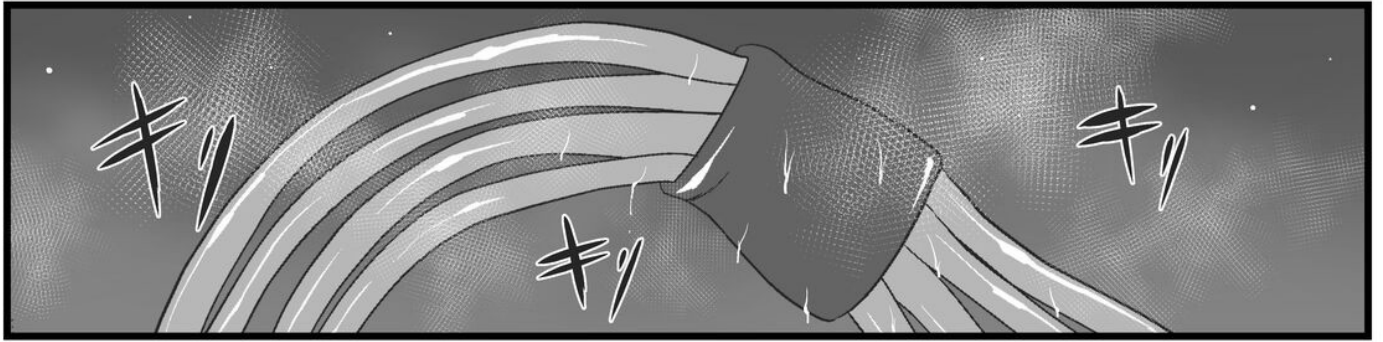


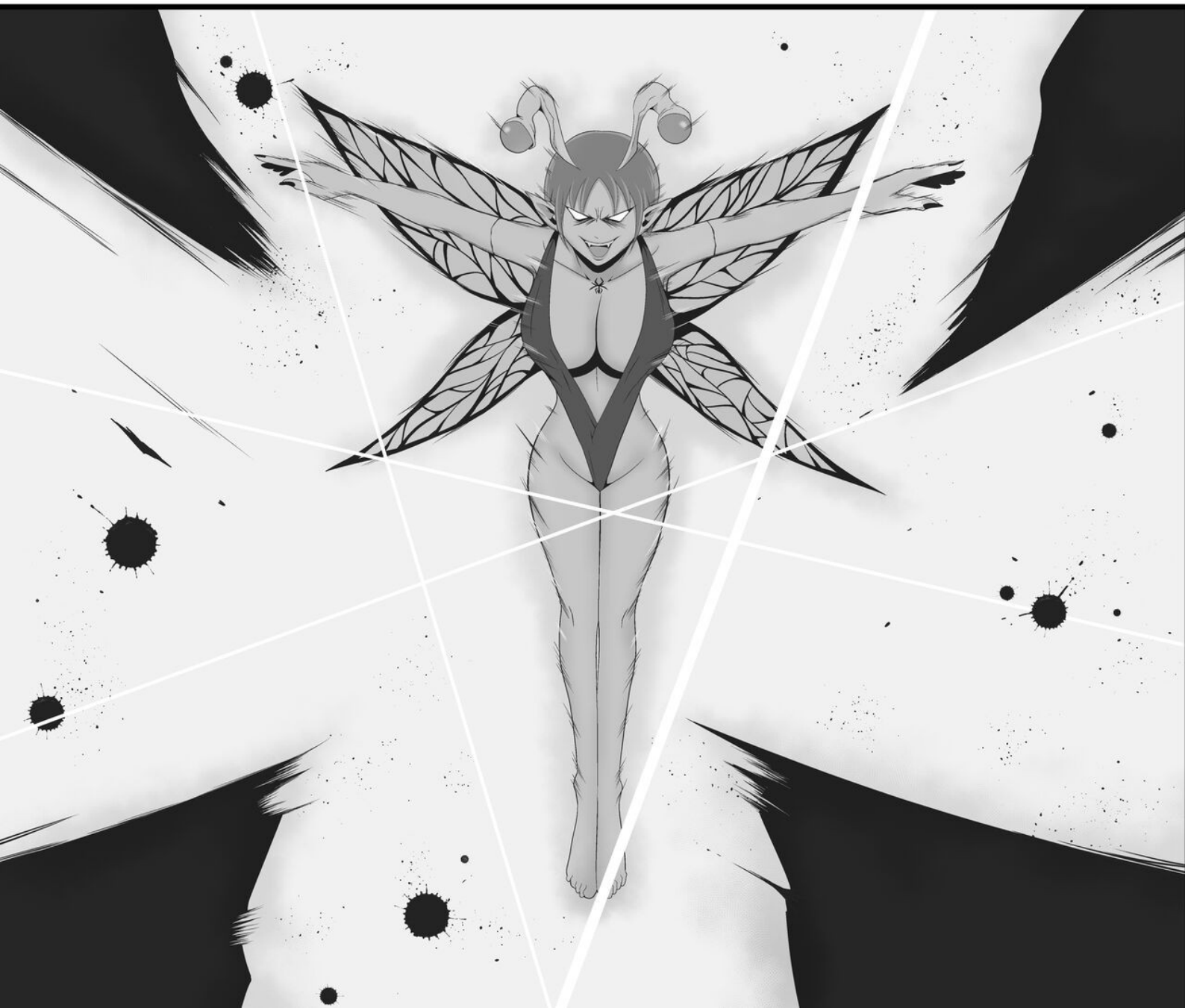
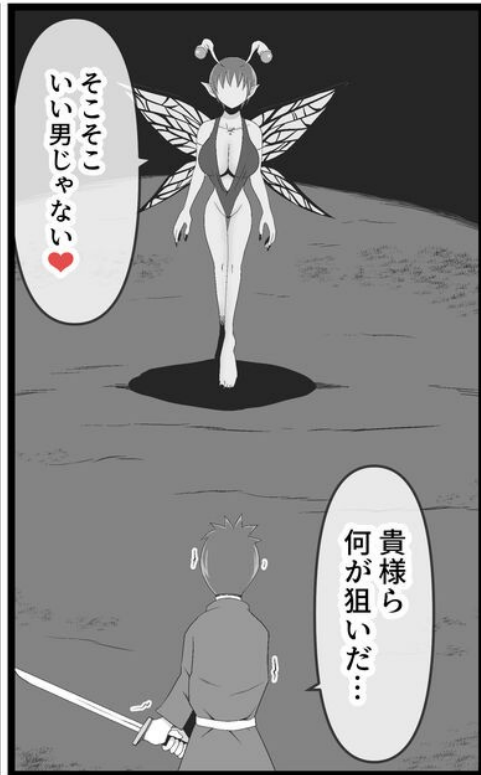
しかし
その平穩は一夜にして一転する

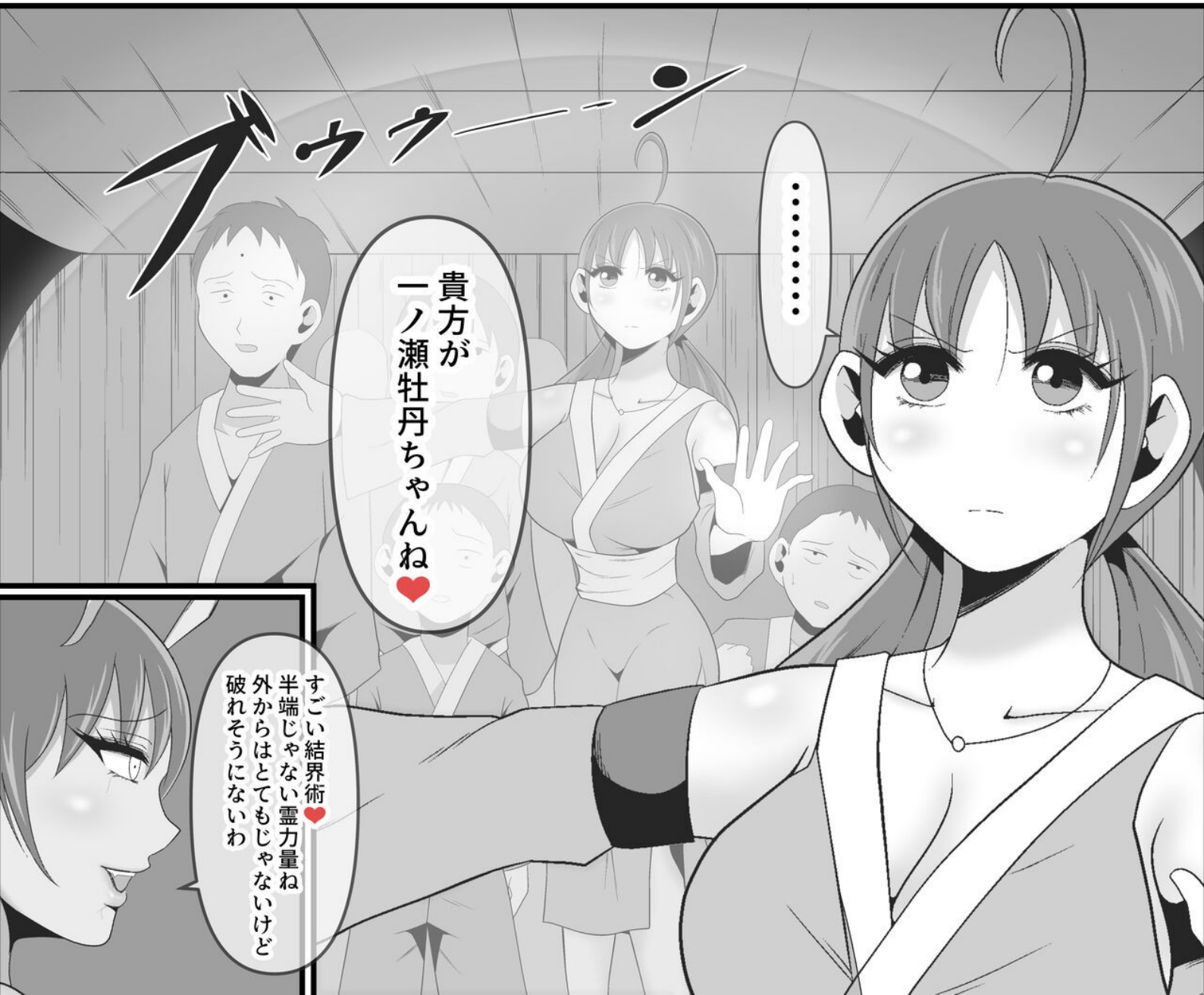
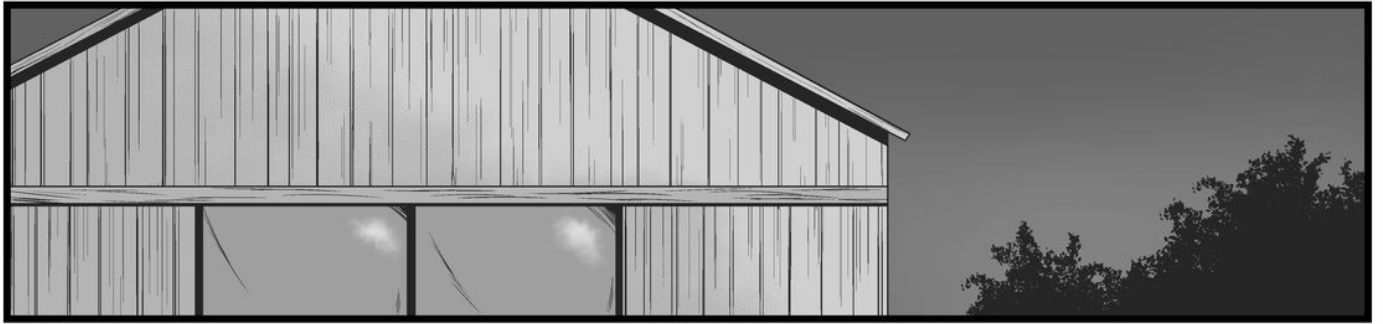


今の彼女は
この集落の人の為に働く事が
生き甲斐であり皆と共に
平穩に暮らす事が望みであった











あら心配しなくても
その子達に用はないわ
あたしは貴方に用があるの
一緒に来てくれる? ♥



この子達には
指一本触れさせない
今すぐ去れ化物



私に用?
一体何の用だ



それは来てからの
お楽しみよ ♥
ちなみに来る事を
拒ん場合は...



ダメだよお姉ちゃん
こんな奴等についていっちゃ



貴様何て卑怯な...

私が行けば
この子達は助かる



ここに火を放って
建物ごと燃やすわ ♥

全て燃やしてしまえば
結界なんて関係ないから

分かった
一緒に行こう…



一体何が狙いか分からないけど
このまま放っておくと
まずい気がする…こいつらの
アジトへ行って探ってみせる

大丈夫よ
すぐ戻るから

ニユ

お姉ちゃん！

イブニ

結界はこのままにしていく
絶対にこの子達には
指一本触れるなそれが条件だ

こいつらの妖力量
本来の性獣の平均値を
遥かに越えている
明らかにおかしい



じゃあ
行こうかしら

ええ



戻るですって…そうね…でも次に戻る時は



……

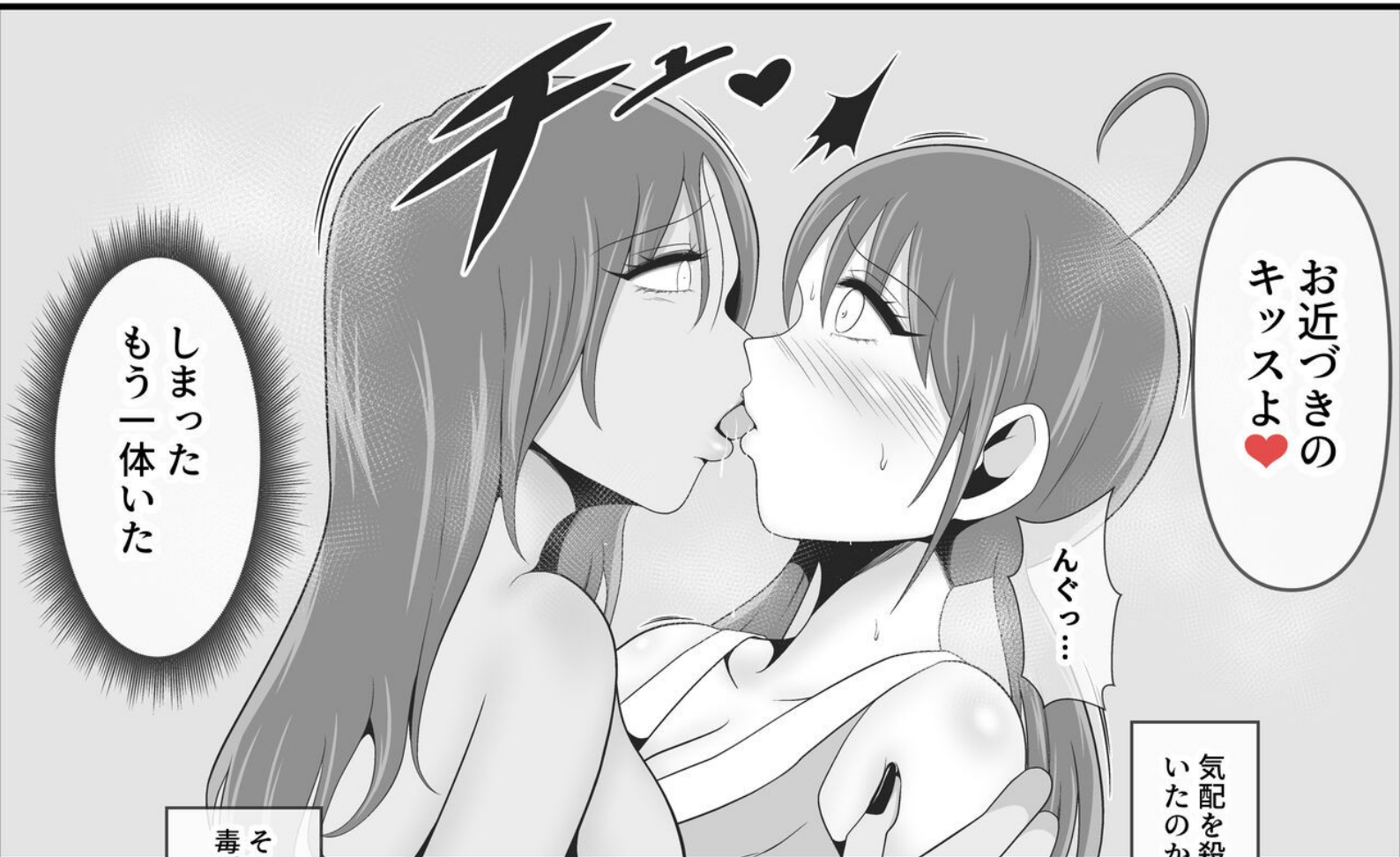
性獣になって戻って来ることになるけど♥



えっ!?



あっそうだ
忘れてたわ♥



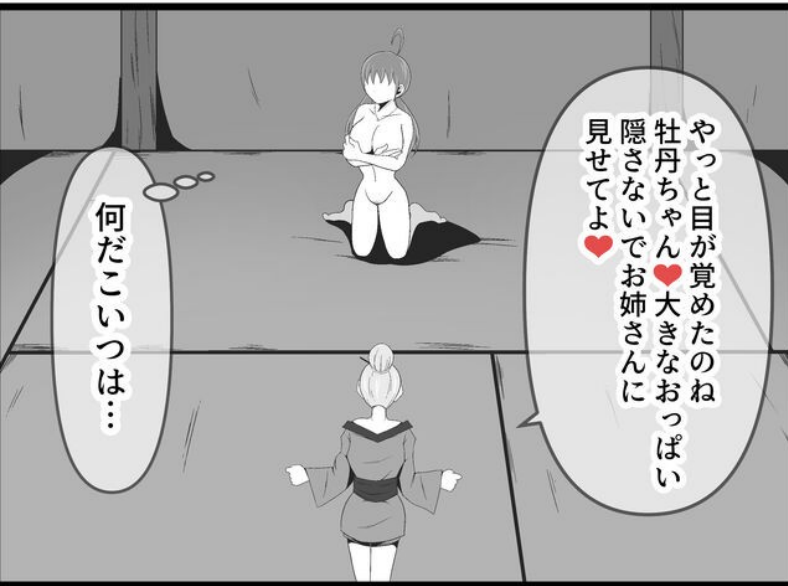
お近づきの
キッスよ♥

んぐっ...

気配を殺して
いたのか

それより性獣の口内には
毒が...ダメだ...意識が...

ううう…



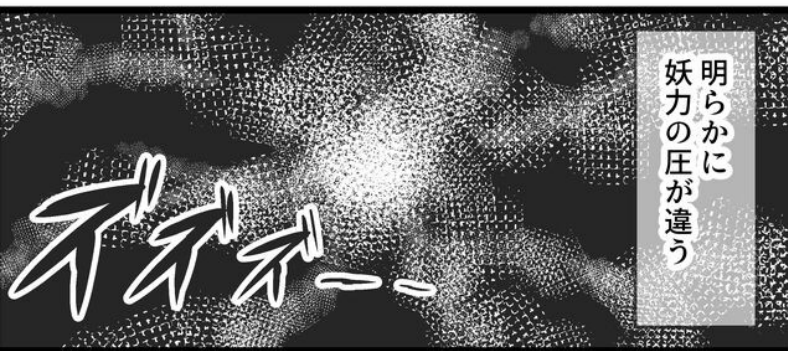
やっと目が覚めたのね
牡丹ちゃん♥大きなおっぱい
隠さないでお姉さんに見せてよ♥

何だこいつは…



こいつは性獣なのか？
この甘いニオイ
そして妖力の質からして
性獣に違いない…でも

………



明らかに
妖力の圧が違う



そして
底すら見えない妖力量

やはり
何かがおかしい

どの位
気を失っていたのだろう…
ここが奴等のアジトか



ムクッ



うまく生け捕りに
したのお

くくくさすが
針蝶姉妹じゃ

女奴



お館様
早く始めようぜ

こいつは性獣
でも…気のせいかな
どこかで会った事が…



くくく…そうじゃのお
ただ一つ問題があつてな



巨躯の男
こいつが親玉か…?
そしてこの女



美味そうな乳だ
舐り回したいぜ
❤️

じゅる

この娘は補助系の
霊術に長けており

尚且つ
尋常じゃない程の
霊力を有しておる…

今もなお
結界に強力な霊力を巡らせ
自分を守っており
指一本触れる事叶わぬのじゃ

それ故まずは
この娘の霊力を奪い
結界を解かねばならない…

はあく何だよそれ
これじゃあ美味そうな
喰い物のニオイだけ嗅がされて
お預けされてる様なもんだぜ

したがって…

スッ

ピク

えっマジ？

パチ

パチ



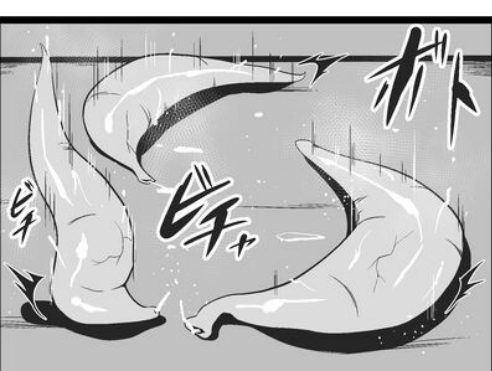
そこで
こいつを使う

ヒル男…

よし…
ではこの乳娘の
霊力を

たらふく
啜り取ってしまえ

……





結界に込められた靈力を
啜りあげ

膜を剥き破り
丸裸にしてしまえ

オニム

結界術は難易度の高い靈術
靈力による繊細な微調整が
出来ねば実戦では使えない

自身を覆い守るような結界は
空間ごと遮断してしまうと
空気が循環しなくなり
呼吸出来なくなってしまう

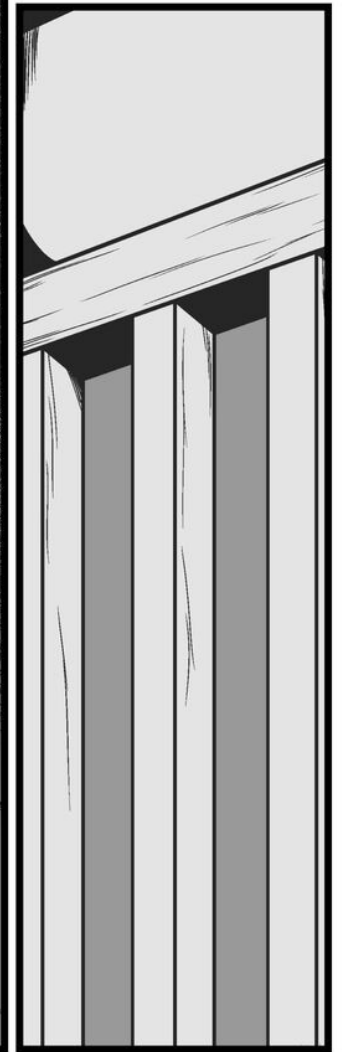
覆

したがって最低でも
呼吸が出来る程度に密度を
調整しなくてはならず
それ故あまり複雑で強い
印は結べない

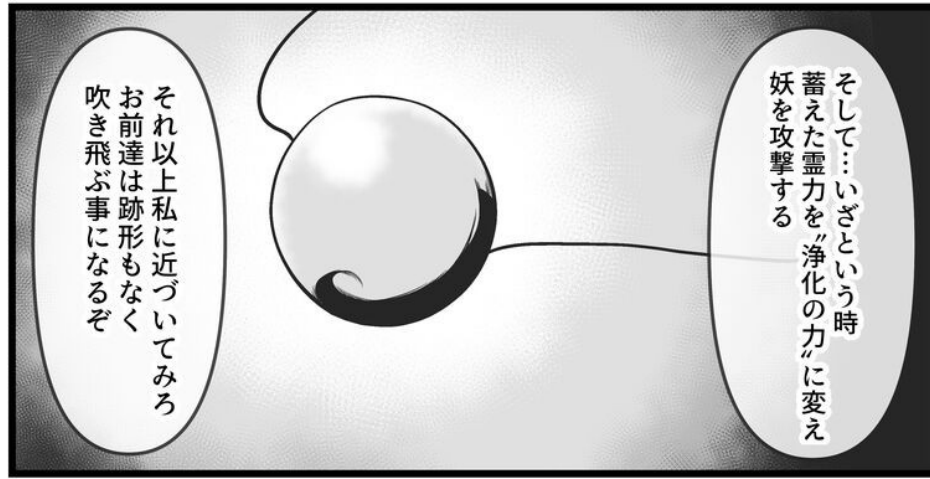
その様な印で構成された結界は
いくら靈力を巡らせようと
外からの攻撃に弱く靈力を
ある程度奪ってしまえばいつか
瓦解する…

貴様の事は事前に
調べてあるぞ
攻撃型の靈術は
あまり得意ではないの
じゃろう…

くそっ…









えっ…!?
なに…この声…

牡丹ねーちゃん…
俺だよ…

罪なき人々の命を
平然と奪う悪党め
今ここで粉々にしてや…



え…うそ…
この声は…もしかして
本当に康介なの？



貴方…結界の中に
いたはずじゃ…



残念
つめが甘かったわね

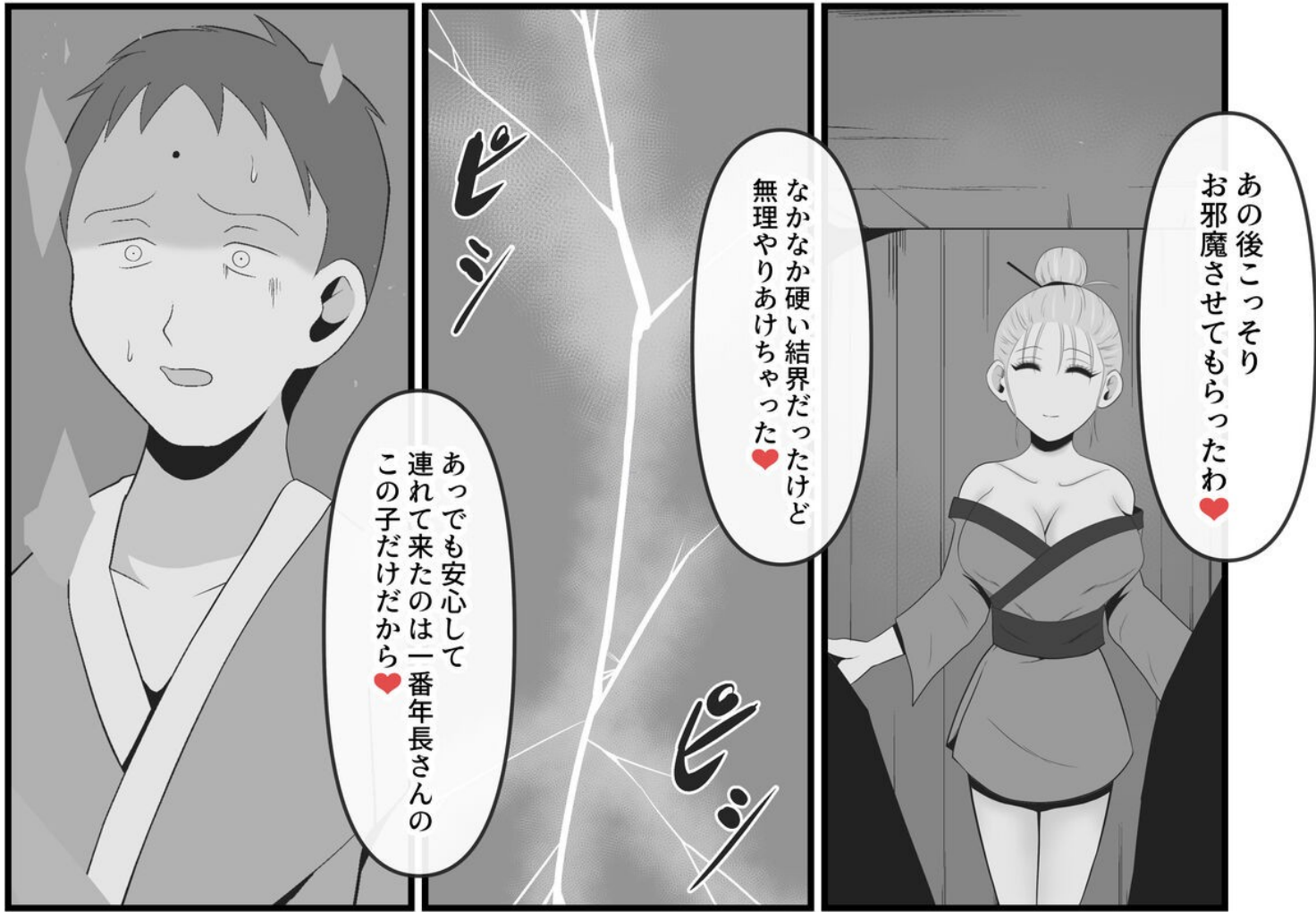


罪なき村人が
巻き添えをくうぞ!

牡丹ねーちゃん
俺だよ康介だよ…



くくく…ええのか?
その精霊石を炸裂させたら…



あの後こっそり
お邪魔させてもらったわ♥

なかなか硬い結界だったけど
無理やりあけちゃった♥

あつでも安心して
連れて来たのは一番年長さんの
この子だけだから♥



そんなお前達
何て恐ろしい事を
何て酷い事を…



何言ってるのこの子はもう
とっくに元服を迎えた
大人の男よ♥
それに最期はちゃんと
自分からすすんで性獣に
なったんだから♥



ふざけるなっ！
嘘をつけっ…



こやつには
オス型の性獣となってもらったぞ

名付けて性獣
“ビル男”じゃ

オオオオ

優しい貴方に
これは使えない

あっ
しまった

だから
もういらないでしょ
❤️





バラバラになったヒルよ
再びヒル男に還れ



とびきり強力な結界を
張ったはずなのにどうして…
いやそれよりこの状況はまずい

でかしたぞ
小豆姫

あ…ああ



性獣にしてあげるから♥

なんだと…



喜んでね牡丹ちゃん♥
貴方も康介君と同じ様に…

私を性獣にするだと
そもそも妖術でそんな事が出来るなど
聞いた事がない

ふざけてなどおらんぞ
現に康介はこんな立派な
妖になれたのじゃ

貴様程の
靈力を持った娘なら
さぞ立派な性獣となれるぞ

康介：本当に
貴方は康介なの…

ふざけるなっ！
そんな事できはがっ…

いやあああああ！

私には分かる…
変わり果ててしまったけど悲しいけど…
この子は康介だって…この子達の
面倒は私がずっと見てたんだもの

やだ：ダメ
結界が解ける…



結界が…

第一の結界が
解けてしまった…



うっ：あつ
康介やめて…

ぬるぬるとした
肌がぴったりと
くっついて

うっ：啜られてる
ぴったりと吸い付いた肌から
霊力が吸われてる



ダメ：お願い康介
目を覚まして…



いやんっ!?

やはりか：
陰部には更に強力な
第二の結界

やめて…

封

本当に見かけによらず
自信家よのう…しかし
それが仇となったな

しかし…これはなかなか面白い
これは神楽綾乃の“独立型”の結界とは別物
貴様よほど霊力量に自信があるのじゃのう

神楽綾乃の結界は一度張ってしまえば
術者の霊力に関わらず
本人の意思で術を解かない限り
その効力はずっと持続する

しかし…この陰部に
施してある結界は特別なものではなく
あくまで術者の霊力によって維持される
並みの結界術

よし
それではあの手でいこう

↑

ドロー ドロー

淫蟲刺転がし



では…
後は男女二人で
ゆるりとしやれ

じゃあな牡丹
エロい性獣になれよ

待て—
行くな化物ども

いやああああ！康介
やめてえ！

もみ♡

妖と人間を一体化させる
そんな恐ろしい妖術今まで聞いた事もない—
私が甘かった…あいつ等は間違はなく特級の妖
おそろくまだ連盟も認識していないはず
このまま放っておけば大変な事になる

ふやああ♡ダメ
そこはダメ♡

チュ♡

チュ♡

チュ♡



康介：
康介なの？

何だよ吸っても
母乳は出てこねえか
サービス悪いな

ハハ♡



へへへ
たまんねえ乳だぜ

もしかして
この声：



康介の声
頭の中で聞こえてくる
やだ：すごくいやらしい

ふああずつと撫で回したかった
牡丹姉ちゃんのケツ
すっべすっべで桃みたいだぜ

んぐっ…んっ♡

このケツや乳で
こそこそ毎日シッコって
たんだよなあ



これは
康介のイメージ

中出しして
俺の子をポッコリ
孕ますのが夢だったんだ



ひどいよ康介
嫌だ：もう
聞きたくない

想像で何回もセックスして
何回も中出ししてやっただぜ

この子…私を見ながら
いつもこんな事ばかり
考えてたの…なんて
いやらしい

今マンコには
札でフタしてあるからな
しゃーねえ

後ろの穴で
開介してやる

ぽお♡

!?

ちよっ…待って
康介…そこはっ…

もみ♡

クリクリ

ひぎゅるるるるる♡





もうやめて
康介：お願い
目を覚まして…

んあつの牡丹姉ちゃんが
何か言ってるあ



何言つてんだよ
牡丹姉ちゃん
こんな気持ちいい事
やめるわけねえだろ

牡丹姉ちゃんも
性獣になれば分かるさ



いやよ
私はならない…
性獣なんて
ならない

^^
^^
^^
最初は皆そう
言うんだよ

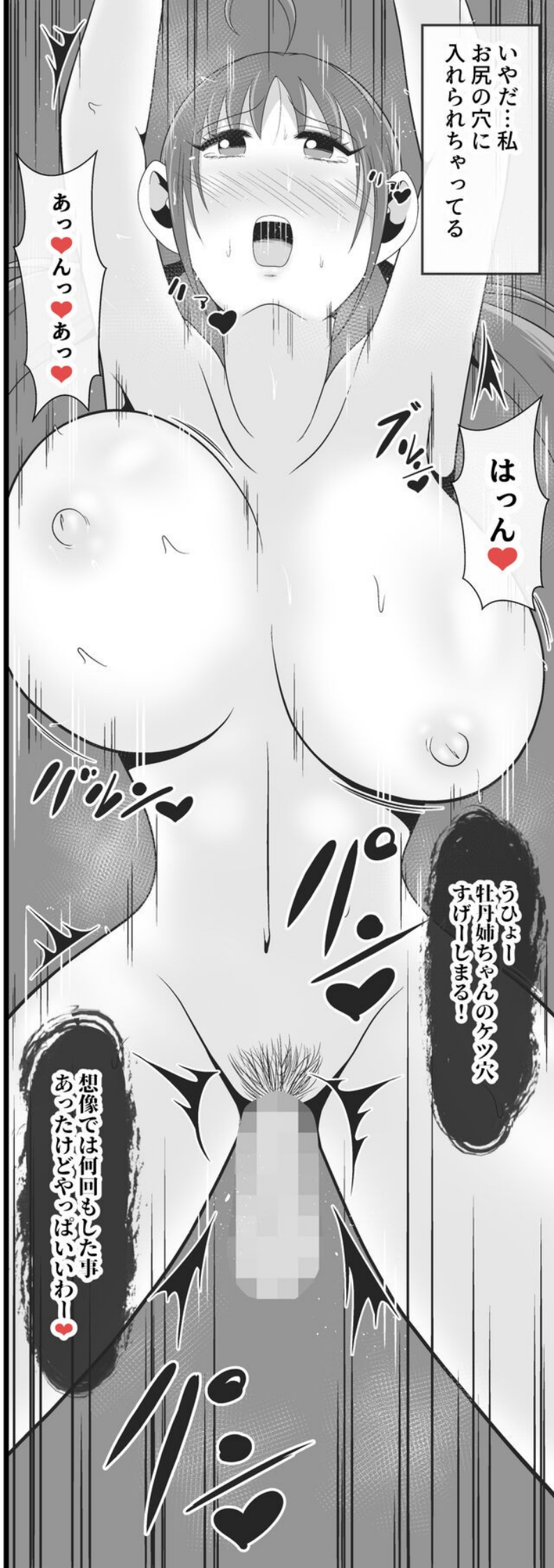


あつ…あつ…あつ…

おっと
そろそろくせ



楽しみだなあ
牡丹姉ちゃんが性獣になって
エロく淫れるところが
早く見たいぜ



いやだ！私
お尻の穴に
入れられちゃってる

あつ♡んっ♡あつ♡

はっん♡

うひょー
牡丹姉ちゃんのケツ穴
すげーしまる！

想像では何回もした事
あつたけどやっぱいいわ♡

あつ♡

いやあああああああ♥



おっと
気を失ったか



本当に
気持ちいいのは
これからだぜ

早く俺と一つになって
もっと気持ちよく
なるうぜ 牡丹姉ちゃん



ふう...たのびり射たぜ



康介！お願い
いたら返事して！康介ー！

どこに…まさか
死んでしまったの？



康介…そういえば
康介は何処へ行ったの？



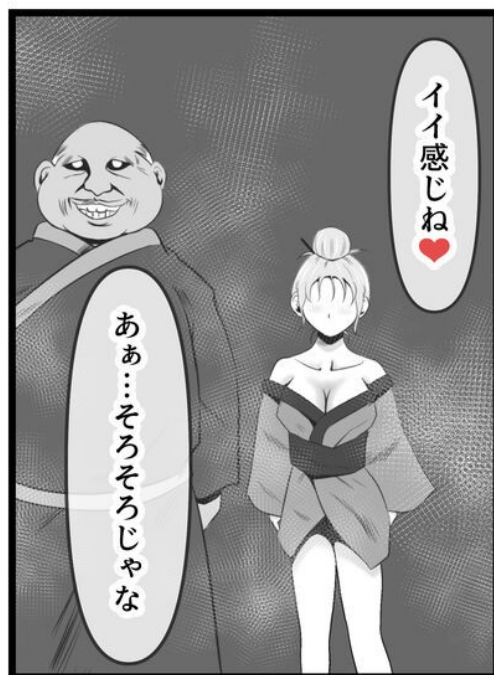
ああ
母性愛に溢れた
実に女性らしい娘じゃ



康介…



自分を苦しめている
はずの者を心配出来るなんて
本当に健気で優しい娘ね♥



ああ…そろそろじゃな

イイ感じね♥



うぐうあっ♥

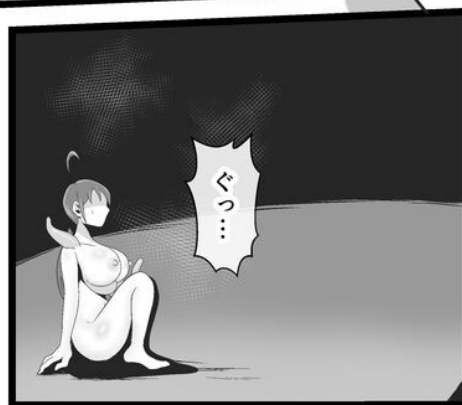




まわりついてたヒルが私にくっついてる... 身体が明らかに変わってしまったのが分かる...



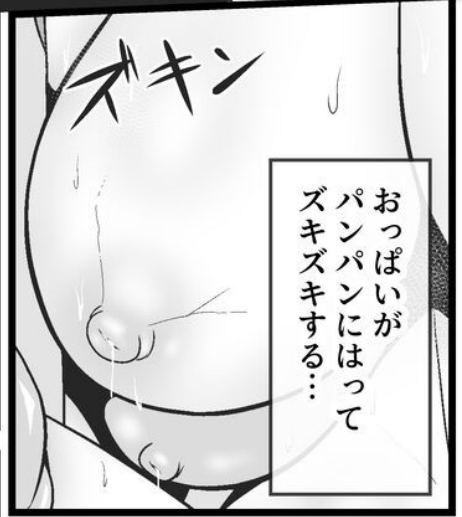
性獣になる位なら死んだ方がまだ...でも身体の自由がきかない...



ぐっ...



くくく...立派になったではないか牡丹



おっぱいがパンパンにはってズキズキする...



そうか...それは怖いのおしかし貴様はこれから僕等の仲間になるのじゃから天罰が下る時は貴様もろともとゆう事になるのお



今の内にそうやってヘラヘラしていろ...お前達にはやがて天罰が下るだろう...



目がギンギンして熱い...



えっ!?



心配するな
貴様は必ず性獣となる

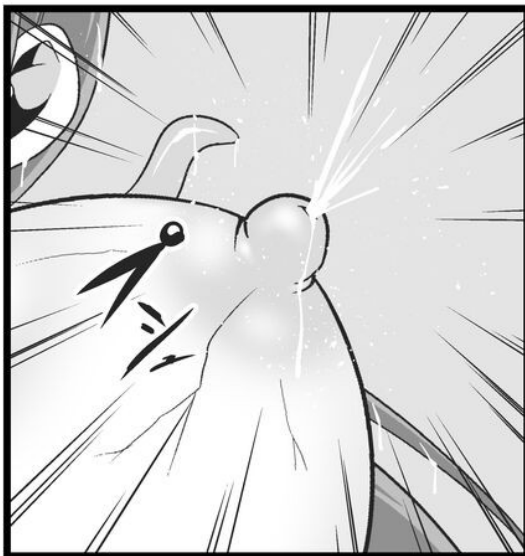
準備は全て
整った…



ふざけるなっ…
誰が仲間になどなるかっ!



ちよっと
まっ…



ヒルよ…一ノ瀬牡丹の霊力を
体外へ排出してしまえ

えっ!?!うそ…
やだ…待って…

いやああああああああ



オニヤアアア

ふやあああ



えっ…うそ…何で…
何で気持ちいいの…

霊力が全て
吐き出されてしまう
結界が…札が
消滅してしまう

ヤダヤダ…ダメ…
この感覚に飲み込まれちゃ
いけない…

でもダメ…
自分の意識で止められない
私の意思とは無関係に
流れ出てしまう…

ダメ…どうしたら

くくく…出とる
出とる…これで
終わりじゃのお

ステキね
❤️

命さん…

牡丹…お前の心は本当に
キレイだ…そして
お前の霊力の強さは
その心からきている

もしこの先お前に危機が
訪れたとしても心を強く持て

お前の心が折れない限り
お前の霊力は尽きる事は
ないだろう

自信を持って
お前はどこに行っても
素晴らしい退魔師になれる

神楽命さん
私の憧れの人—

そうだよね
命さん

おや？

霊力が減らない—

いくらでもやれ
化物

ゲゲゲ

私の霊力を奪ってみろ!!

霊力が絶え間なく溢れてくる――



あらすごい!
どんどん内から霊力が
溢れてくるわ

ぶはははは!
退魔師とゆうのは
そんな事も出来るのだな
つくづく面白い

まあよい
今日はこのへんにしておいてやる
また後日ゆっくりと戯れようぞ

ぶわははははは!

何とか…退けた――

なあ小豆姉様
まだ針姫と蝶姫は戻らねえのか？

ええ：だから今日は
アタシとお館様の三人よ

せっかく面白いもんが
見えるのに
あの二人残念だな

おおすげえ：
ここからでも甘いニオイがするぜ
てかもうあれって性獣じゃねえの？

まだよハっちゃん
あれはまだ半性獣状態
「孵化」はこれからよ♥

ここまで半性獣状態が
進んだ娘は初めてだわ



私は負けない！

共生性活
十一日目



私の霊力は決して
なくなる事はない…

訳の分からない事を…
何が寝かせておいただ
私は性獣になんてならないぞ



うわあすげえな
でもお館様これって
まだ受妖してねえのか？



受妖ならとうにしておる
より強い性獣にする為
あえて寝かせておったのじゃ



今日その札を剥ぎ
妖艶で淫乱な性獣と
なってもらおう

はっ!!



牡丹よ見事じゃ
ここまで半性獣となっても
理性を保っておられるとは
素晴らしい…しかし
お前が人間でいられるのは
ここまでじゃ



牡丹ねえーちゃん

結界を解く方法は
何も霊力を奪う事
だけではない



そういえば康介は—



霊力を維持する事ばかりに
気を取られて
あやつの存在を忘れて
いないか？



何をバカな事を
言っている…

貴様やはり
失念しておるようじゃのう



お姉ちゃんの中だよ

トクン



康介の精神は貴様の肉体に
溶け込み一体化を果たした
したがって現在その肉体には
貴様と康介両方の精神が
宿っており一つの肉体を
共有しておる



中って…
どういう事?

くくく…
最初に言ったじゃろう
一体化してもらおうと



グググ



俺は待っておったのじゃ
貴様の精神と康介の精神が
完全に同化するのを…



何を…そんなバカな

バカな…
じゃあさっきから
身体が動かないのは



身体がピクリとも
動かない…

トクン
トクン
封



抵抗してるとこ見ると
ゾクゾクするぜ



外から無理やりじゃなくて
内から開けちゃうなんて
何だか童話みたいね



やっと思えるぜ
姉ちゃんがエロく
なつたところ

やっ...やめろっ...
やめるんだ康介...
それだけはっ...



楽しみだなあ
早く一緒に人間の生
を啜ろうぜ

ダメだ...それは...
それを剥いてしまったら
もう...



や...やめっ...



ぬぎ

終わりじゃーノ瀬牡丹



えっ...うそ...やだ
手が勝手に...

札に...

さあ牡丹姉ちゃんも
こっちに来るんだ



うああ…やめろ
やめてくれ…いやだ…
私は性獣になんて
なりたくない

けけけ牡丹姉ちゃんの
生マンコ御開帳
さっさとお館様に
捧げちまえ

ゴロ

ハッ♡

ぽお♡



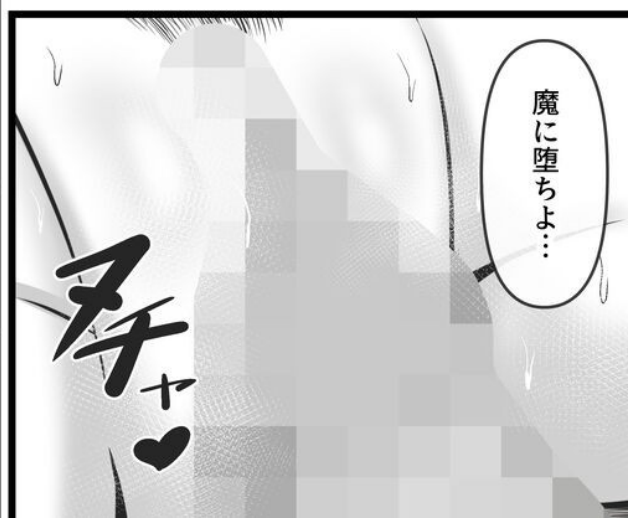
いやあああああああ!!

アッ♡
アッ♡



それでは「孵化の儀」
を始める

準備はいいな
一ノ瀬牡丹よ…



魔に堕ちよ…

アッ♡

くくく…やはり
初物か

嘘だ—
ここまで耐え忍んだのに
こうもあつけないなんて

私本当に人間じゃなくなるの
性獣になっちゃうの？
命さんごめんなさい…



私は今から
性獣になっちゃうけど
もし醜い姿で命さんの
前に現れた時は…

その時は
お願い私の事祓って
私を終わらせてね…

期待に応えられなくて
ごめなさい…命さん



その腹に
“魔”を宿し

誕生せよ



性獣

一ノ瀬牡丹よ



びしょびしょ!!



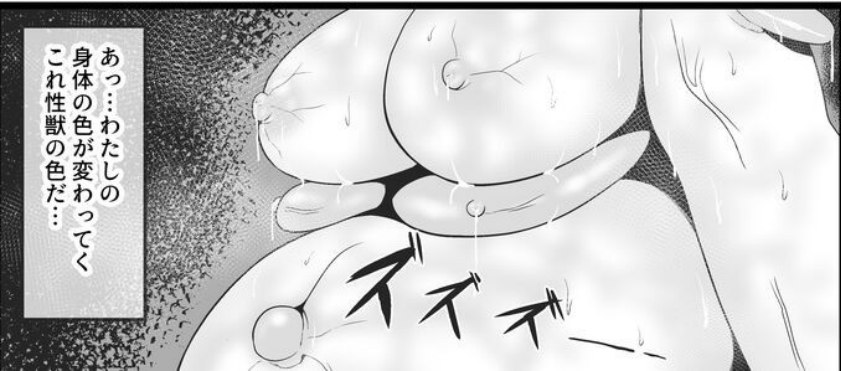
人それぞれ違うわ
因みに貴方の時は皮膚を
突き破って触手が生えて
きたのよ



うわっすげえ:
身体がボコボコ膨らんでく:
皆こんなになるのか小豆姉様?



身体がパンパンに膨らんでく
でも痛くない...意識が朦朧として
何だかフワツとする



あっ...わたしの
身体の色が変わってく
これ性獣の色だ...

身体中がキュンキュンと切なくなってきた…これ初めてオナニーした時の気持ち良さと同じか

けけけ！牡丹姉ちゃんも隠れてオナニーとかしてたんだな！仲間じゃねえか

分かるぜ姉ちゃんがすっごく気持ちよくなってるのが俺にも伝わってくる

ズッズン

ボコ

ボコ

あれ？
何だか声が聞こえてくる
これって康介…康介よね
あたしを性獣にしてくれた

康介が何か言ってる
あたしをこんな姿にした
こんな気持ち悪…
気持ち良…キモチ

やっと一つになれるな
俺は姉ちゃんの中で
永遠に生き続けるからな

おおお…

気が向いたら
表に出てきてやるよ

ズッズン

アレ…あたし…

ズッズン

スゴイ！いっぱい汁が出る
これ！たぶんアタシの最期の
ニンゲンの部分だ！たっくさん
でてる！これセンプでたら
終わりだ

ふあああ♥
とってもきもちいい！
トメラレナイヨ♥



ヒルからシルだと
キモチいい！でも
ヒルからシルすつたら
もつときもちいい♥

アレ！アタシって
せいじゆう！セイジユウ
ヲマモツテタンダツケ



アタシのヒルがそだつてる♥
バキバキウネウネかっつてに
うごいてカワイイ♥

ケツからもヒルが
はえてきた♥キモチイイ♥
ウネウネ♥ネチャネチャ♥
フフフ！オカシイ♥

ハア！オナカスイタ！
ゴハン！ツテ！ソウダ
チンポダ！アタシノ
ゴハンハチンポダ

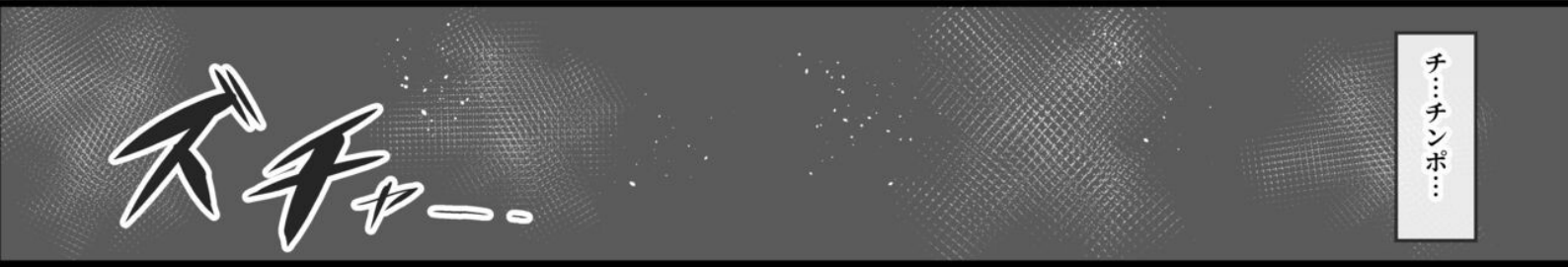




ヒルデ…

ススリタイ…

ヒルデ…チンポ
タベタイ…



グチャー..

チ…チンポ…



グチャー..

新たな命の
誕生じゃ

起き上がり
その艶めかしい身体を
儼に見せてみる

元一ノ瀬牡丹
性獣"ビル女"よ





やだこのケツの穴から出てるヒルすっごい♡
あたしがキュンキュンすると先っぽから♡
どびゅどびゅ汁が出てくる♡
びゅるって汁が出るとすっごく気持ちいい♡



もうムズムズして♡
ヒルマンコが熱い♡
男のニオイがたっぷりする男汁を♡
あたしの全身で啜りたい♡

はあく何この気持ちよさ♡
性獣ってこんななんだ♡
おっぱいがいっぱいになって♡
すっごく嬉しい♡



ふふふ康介♡
貴方もお腹すいたでしょ♡
すぐチンポミルク飲ませて♡
あげるからね♡



あゝん♡お館様こんなステキな
身体にしてくださいさってどうもありがと
ねえお館様の男汁ジュルジュル啜らせて
康介にも飲ませてあげたいの♡♡

ああいくらでも舐ってよいぞ
存分に啜れヒル女…いや
ヒル女とゆう名はふさわしくないな

“蛭姫”
お前は今日より蛭姫じゃ



んふ♡お館様の
チンポもしゃぶるう♡



うむ美味じゃぞ蛭姫
練乳を数倍濃くした様な
とても甘くねっとりとした味じゃ

どう？
おいしい♡



ありがとうお館様♡
お礼にあたしの毒汁を
啜らせてあげる♡



ほらほら♥あたしの
段々おっぱいスゴイでしょ♥
それとあたしのヒルの皮膚が
チンポにびったり吸い付いてるわ♥

やんお館様の
チンポさいこ〜♥



計画通りにいったな
小豆姉様



ええ
牡丹ちゃん
とってもステキだわ♥



ではこちらからも
練乳の様な甘いニオイのする
マン汁を啜らせてもらうぞ

ふやああん♥

んっ…あっ
すっごい♥♥

うむ
口内にとろける様な
深い甘味が広がる…
大層美味じゃ



ホントに：
すごい妖力♥

お館様と交わる度に…

あはあ〜ん♥

お館様あ〜♥
チンポミルクいっぱい
ちようだ〜い♥

どんどん妖力が増しているわ♥



ズチ♥

ズチ♥



これからが楽しみね♥

こうして一ノ瀬牡丹は
性獣を守る性獣として
変貌を遂げたのであった！